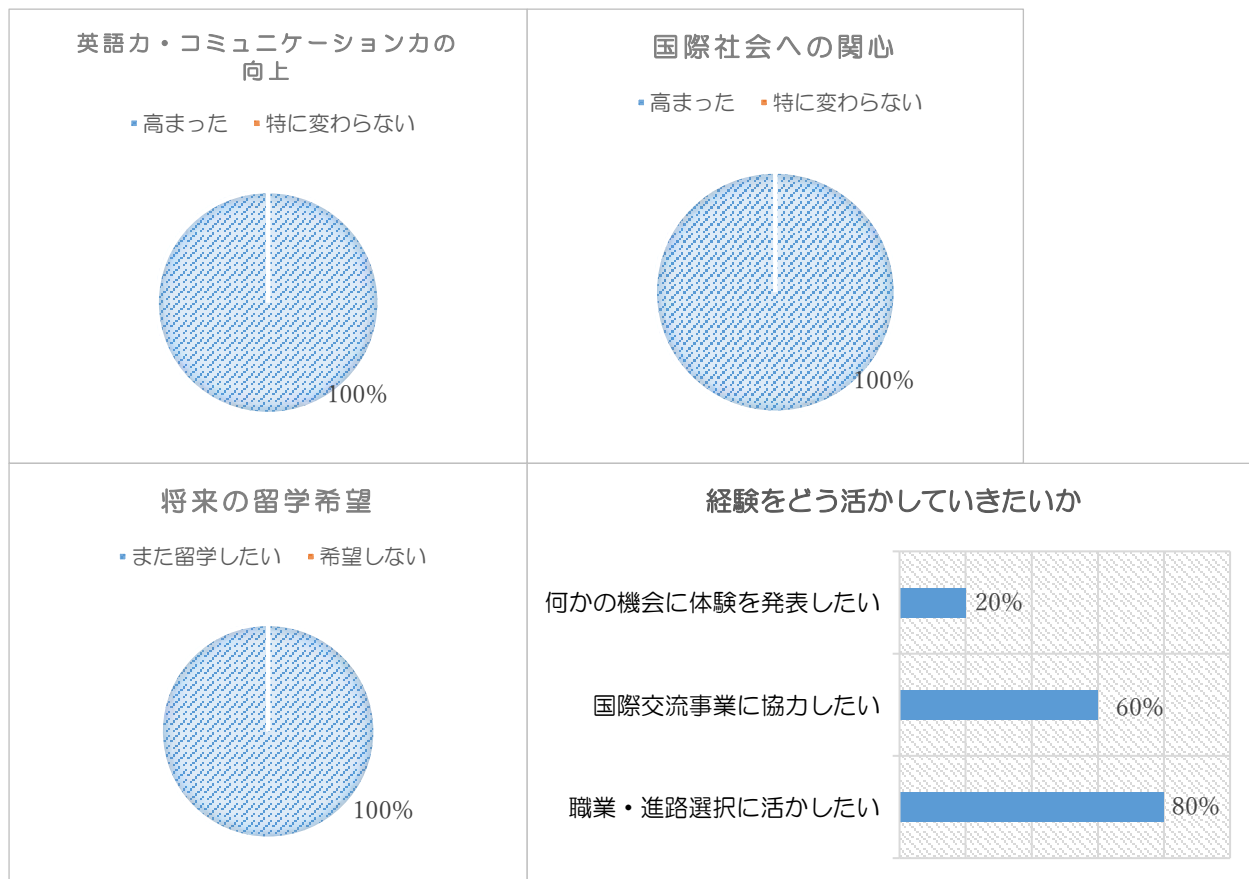


令和5年度（2023年度）北海道・ニュージーランド高校生交換留学促進事業 —アンケート結果から見える事業効果—

■ 事業効果

参加生徒へのアンケートにより、参加生徒全員（5名）が、「英語力・コミュニケーション力の向上」、「国際社会への関心の高まり」を実感し、「将来また留学したい」と回答。



■ 参加留学生の感想

- 文法が合っているか、単語の発音が間違っていないかなど最初は考えて会話が億劫になっていましたが、慣れてきて細かいことは考えずに自分の思った言い方で会話をするのが大切だと分かりました。
- 今回の留学を通して、異文化、言語について学ぶ良い機会でした。気候も心地よいもので本当にニュージーランドが恋しいです。マオリの方々や学校でお友達と話して、自分はどんな人間なのか、自分はこれから自分という人間のどんな部分を伸ばしていきたいのか等、自分を深く見つめ直す良い機会でした。
- 今回の留学で将来自分が違う国に留学するイメージができたし、色々な考え方を学ぶことができました。本当にありがとうございました。
- 初めての海外経験で貴重な経験を沢山できた。ホストファミリーがマオリの方だったので特にマオリのことを知れてよかった。あたたかい人達に恵まれて安心して生活することができた。
- この2週間は間違いなく私の人生に大きい影響を与えた。多様な人種が通う学校に通ったこと、そこで全く違う価値観に触れたことで、多様性を尊重することの大切さを学ぶことができた。また、日本よりも活発だった人と人との交流を見ることで、自分の、人との関わり方を見直すことができた。

■ 引率教員の感想

- ニュージーランドでお世話になったワイヌイオマタ高校の日本語教師が、個別最適化学習の継続的な提供の必要性、個々の教師の資質の大切さを訴えておられましたが、自分自身の教員としての在り方、生き方について見直すきっかけを頂きました。
- 生徒指導において、単に叱るのではなく、叱った後でも授業にしっかり参加させ、どの生徒にも孤独感を与えていないという点に改めて感心し、自分の普段の授業を振り返る良い生徒指導の参考事例となりました。
- ニュージーランドの公立・私立学校の現状・実情を肌で感じることができました。ICT教育が北海道よりも進んでおり、当たり前のように tablet を通した授業・課題のやりとりがなされており、また、訪問させていただいた高校の留学生向けのオリエンテーションマニュアルやシラバス、授業の組み立て方がしっかりしていることにとっても感心しました。
- どの国の学生も、語学を学ぶには「楽しい雰囲気、オーセンティックなコンテンツ」が必要である、ということなど、自分のこれまでの授業を振り返る機会を得られたのは、とても大きかった
- できれば、往路から留学期間、復路まで含めて全日程滞在することができれば、参加生徒の成長を目の当たりにしつつ、より多くのニュージーランドと日本との学習スタイル・環境などの相違点、日本の高校が参考にできるニュージーランドの教育の良い点などについてまとめるなど、帰国後の授業改善に役立てることができるのではないか、と考えます。